

定例記者会見



令和7年 田辺市文化賞について

日時	令和7年10月31日（金）	午前10時～
出席者	真砂 充敏 田辺市長 大久保将之 秘書課長	木村 博充 総務部長 高井 正臣 秘書係長

田辺市文化賞



田辺市では、「歴史と伝統に学び、教養を高め、文化のかおるまち」をめざし、毎年11月に本市の文化の発展に貢献いただいた方々に『田辺市文化賞』をお贈りし、その功績を顕彰しています。

- ◆昭和45年創設（旧田辺市において創設）
- ◆本年56回目を迎える
- ◆昨年までの受賞者84名（うち旧田辺市 54名、現田辺市 30名）

田辺市文化賞

令和7年 受賞者
竹中 清 氏



功 績

長年にわたり、照葉樹林の回復に向けた植樹活動や環境教育に尽力し、熊野の森の環境保全に努められるなど、地域文化の発展に寄与される。

田辺市文化賞

活動

苗づくりは、樹のたね（主にドングリ）を地元で集め、牛乳パックに土を入れて苗を育て、発芽から2年ほど経った苗木を一本ずつ手作業で植える。



苗づくり



植樹

田辺市文化賞

活動

熊野を中心に樹木などの植生、野鳥、昆虫などの観察会を開催



出典：NPO法人 熊野の森ネットワーク いちいがしの会 ホームページ (<https://www.ichiigasi.jp/>)

田辺市文化賞



令和7年 田辺市文化賞贈呈式

日時：令和7年11月21日（金） 午後1時30分～

場所：田辺市役所 5階 庁議室



たけなか きよし

竹中 清 氏

生 年 昭和16年

住 所 田辺市中辺路町栗栖川

氏は、地方文化の担い手である「書店」や「新聞販売業」を生業とし、多忙な業務の傍ら、「～熊野の森ネットワーク～いちいがしの会（以下「いちいがしの会」という。）」の活動に身を投じ、熊野の山々での植樹を中心としたボランティア活動に熱心に取り組むなど、熊野の自然と人々の暮らしをつなぐ「森づくり」の実践者として、長年にわたり地域の環境保全に邁進してきた。

氏が、子供のころから親しみ、当たり前のように知っていたと思っていた自然の風景の中に、生態の不思議や魅力を見つける喜びを知ったのは、南方熊楠特別賞や田辺市文化賞など数々の賞を受賞された故・後藤伸氏との出会いがきっかけである。

熊野の森や自然の大切さについて学んでいくうちに、植樹活動だけでなく、生き物や植物など様々なことに興味が湧き、植樹活動を通して山に行くことを楽しみ、今も生きがいとして活動を続けている。

「照葉樹林の復活」を目指して設立された「いちいがしの会」では、氏は仲間と共に設立当初から活動に携わり、平成16年に会長を引き継ぐと、以後16年にわたりその中心的な役割を担ってきた。設立から現在に至るまで、氏の活動は28年に及び、会員は市内のみならず全国各地に広がっている。当時20人で設立された会員数も300人を超えるなど、同会は大きく発展を遂げてきた。

人一倍、地域の自然を愛好し、熊野の森、身近な自然に触れる中で、毎年のように発生する豪雨による大規模な土石流や山崩れに強い危機感を抱き、保水力のあった熊野の本来の森林の姿を少しでも取り戻そうと、行き過ぎたスギ・ヒノキの人工林による山の脆弱性を改善すべく、荒廃した人工林を自然林に戻すために巻枯らし間伐を行い、地元で自生するイチイガシやアラカシ、シラカシ、ウバメガシなどの常緑広葉樹の種をまき、苗を育てて植樹するなど、「熊野の本来の森の姿」にこだわり、自然の営みに寄り添った方法を実践してきた。

また、氏は単なる植樹活動にとどまらず、自然観察会や環境講座の開催を通じて、地域住民や若い世代への環境教育にも力を注いできた。平成12年の旧中辺路町時代に結成した「中辺路子ども環境探偵団」は、本年で26年目を迎え、山や川、身近な自然環境問題をテーマとして、町内の小中学生を対象に、熊野の本来の森の様子や

人の営みの大切さを語り続けている。

このほか、令和5年には、「いちいがしの会」を母体としてNPO法人に認証されるなど、氏の活動は地域に根ざした持続可能な自然保護のモデルへと発展を遂げている。

このように、照葉樹林の回復に向けた諸活動を展開することにより、本来の自然を取り戻すための道筋を切り開くとともに、熊野の豊かな自然環境の保全はもとより、人々の心に自然への敬意を育む意識の高揚にも尽力してきた氏の功績は誠に多大である。

(学 歴)

昭和36年 和歌山県立田辺高等学校卒業

(職 歴)

昭和36年～ 竹中書店（家業）、現在に至る

(主な活動等)

平成9年 「～熊野の森ネットワーク～いちいがしの会」設立
設立当初から活動に携わり、熊野の照葉樹林の保全と復活を目指して、植樹を含む保全活動や環境意識の啓発など広範囲な活動を展開、現在に至る

平成12年 「中辺路子ども環境探偵団」結成、講師として活動、現在に至る

平成12年 第16回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会・シンポジウム（中辺路町）において実践活動発表を行う

平成16年 「～熊野の森ネットワーク～いちいがしの会」会長に就任

平成18年 田辺市生涯学習振興大会シンポジウム（田辺市）においてパネリストを務め、森林環境の保全を訴える

平成20年 いちいがしの会設立10周年記念大会（田辺市）を開催

(役職等)

平成13年～ 紀の国環境モニター

平成15年～ 中辺路町立中辺路中学校評議員（現 田辺市立中辺路中学校）（平成30年まで）

平成16年～ 「～熊野の森ネットワーク～いちいがしの会」会長（令和2年まで）

平成25年～ 和歌山県自然公園指導員

(受賞歴)

平成18年 「～熊野の森ネットワーク～いちいがしの会」会長として緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞

平成21年 環境美化推進活動表彰を受賞（田辺市環境美化連絡協議会）

平成24年 教科書供給功労者文部科学大臣表彰を受賞

平成27年 春の褒章にて黄綬褒章を受章

受賞者コメント

竹 中 清

このたび田辺市文化賞のご連絡を頂き、驚きとともに、これまで受賞された方々のことや、他にも立派な方がたくさんいらっしゃるのに…「なぜ私に？」という気持ちが湧いてまいりました。

けれども、これは私個人の賞というよりも、これまでご指導くださった先生方、そして共に歩んできた多くの仲間たちを代表して頂くものと受け止め、ありがたくお受けすることに致しました。

「いちいがしの会」は設立から 28 年。故・後藤伸先生の「熊野の森が壊れていくのを何とかしたい」、100 年、200 年かかってでも本来の照葉樹の森に戻したいという願いのもとに始まりました。同じ志を持つ仲間たちと共に、苗つくりや植樹、巻き枯らし、観察会、勉強会など、気が遠くなるような活動を地道に続けてまいりました。

思い通りに進まないことも多々ありますが、先生の「虫の声を聞け」「世の生き物は何一つとして無駄なものはない。みんな何かの役に立っている」という言葉を心に秘め、自然こそ命の源であることを忘れず、これからもくじけずに一步一步進んでいきたいと思っております。

田辺市文化賞受賞者一覧

〔参考〕

	年	回	氏名	活動内容	住所	備考
1	昭和45年	第1回	故雑賀 貞次郎	地方文化	(故人)	旧田辺市
2	〃	〃	故原 勝四郎	洋画	(故人)	〃
3	〃	〃	故池永 浩	万代記解説	(故人)	〃
4	〃	〃	脇村 義太郎	経済学	(故人)	〃
5	〃	〃	高川 格	囲碁	(故人)	〃
6	〃	〃	早田 卓次	体操	東京都世田谷区	〃
7	昭和46年	第2回	廣島 鋤和	華道	(故人)	本名 廣島幾太郎
8	昭和47年	第3回	鈴木 雄三	弓道	(故人)	〃
9	〃	〃	木村 龍平	生活文化	(故人)	〃
10	昭和48年	第4回	山崎 祥石	書道	(故人)	〃
11	〃	〃	益山 英吾	洋画	(故人)	〃
12	昭和49年	第5回	野口 民雄	地方文化	(故人)	〃
13	〃	〃	福本 鯨洋	俳句	(故人)	本名 福本清一郎
14	昭和50年	第6回	森木 啓之	地方文化・邦楽	(故人)	〃
15	昭和51年	第7回	野口 利太郎	地方文化	(故人)	〃
16	〃	〃	坂東 三恵鶴	舞踊	(故人)	本名 高橋つる
17	昭和52年	第8回	中嶋 明	剣道	(故人)	〃
18	〃	〃	小山 周次郎	地方文化	(故人)	〃
19	昭和53年	第9回	前野 忠道	古文書	(故人)	〃
20	〃	〃	玉井 武二	水彩画	(故人)	〃
21	昭和54年	第10回	中井 國之助	生活文化	(故人)	〃
22	〃	〃	辻村 喜一	山藍染	(故人)	〃
23	昭和55年	第11回	赤木 四郎蔵	医療・学校保健	(故人)	〃
24	〃	〃	安部 辨雄	文化財	(故人)	〃
25	昭和56年	第12回	太田 耕二郎	植物学	(故人)	〃
26	昭和57年	第13回	吉田 恒四郎	童話	(故人)	〃
27	昭和58年	第14回	真砂 久一	植物学	(故人)	〃
28	昭和59年	第15回	田ノ岡 鉄一	木版画	(故人)	〃
29	昭和60年	第16回	稗田 一穂	日本画	(故人)	〃
30	〃	〃	曾我部 玄雄	文化財・体育	(故人)	〃
31	昭和61年	第17回	故吉信 英二	社会教育	(故人)	〃
32	〃	〃	原 盾二郎	音楽	田辺市朝日ヶ丘	〃
33	昭和62年	第18回	森内 富三郎	音楽	(故人)	〃
34	昭和63年	第19回	水本 愛堂	書道	(故人)	本名 水本 清
35	平成元年	第20回	辻本 亮三	生活文化	(故人)	〃
36	〃	〃	榎本 はな	生活文化	(故人)	〃
37	平成2年	第21回	吉田 彌左衛門	豆本の出版	(故人)	〃
38	平成3年	第22回	神谷 幸	幼児教育	(故人)	〃
39	平成4年	第23回	南方 文枝	地方文化	(故人)	〃
40	平成5年	第24回	杉中 浩一郎	地方史の研究	(故人)	〃
41	平成6年	第25回	岡安 喜久仕	長唄	(故人)	本名 藤井朝枝
42	平成7年	第26回	外山 八郎	自然保護	(故人)	〃
43	平成8年	第27回	木下 伊吉	生活文化	(故人)	〃
44	〃	〃	脇村 孝三郎	生活文化	(故人)	〃
45	平成9年	第28回	伊勢田 進	考古学	(故人)	〃
46	平成10年	第29回	後藤 伸	生物研究・自然保護	(故人)	〃
47	平成11年	第30回	恵中 三市蔵	絵画	(故人)	〃
48	平成12年	第31回	坂東 昌子	舞踊	田辺市中屋敷町	本名 政井昌子
49	平成13年	第32回	寄本 勝美	行政学	(故人)	〃
50	平成14年	第33回	中瀬 喜陽	地方文化	(故人)	〃

田辺市文化賞受賞者一覧

〔参考〕

	年	回	氏名	活動内容	住所	備考
51	平成15年	第34回	故鈴木 桂一郎	地方文化	(故人)	〃
52	平成16年	第35回	中田 昌女	華道・茶道	(故人)	〃
53	〃	〃	故小森 陽太郎	社会教育・生活文化	(故人)	〃
54	〃	〃	角 莊三	音楽	田辺市秋津町	〃
55	平成17年	第36回	田上 實	絵画	(故人)	現田辺市
56	〃	〃	宇江 敏勝	作家	田辺市中辺路町野中	〃
57	平成18年	第37回	坂本 勲生	語り部	(故人)	〃
58	〃	〃	清水 正治	生活文化	(故人)	〃
59	平成19年	第38回	小川 虔道	尺八奏者	(故人)	号:令山(りょうざん)
60	平成20年	第39回	森本 正男	地方史の研究	(故人)	雅号:果無山(かむさん)
61	平成21年	第40回	眞砂 典明	生活文化	(故人)	〃
62	平成22年	第41回	潮 隆雄	染織工芸	(故人)	〃
63	平成23年	第42回	坂本 フジエ	生活文化	(故人)	〃
64	平成24年	第43回	神谷 慧	合唱指導・音楽教育	(故人)	〃
65	平成25年	第44回	玉井 済夫	生物研究・自然保護	(故人)	〃
66	〃	〃	故牛尾 武	日本画	(故人)	本名 牛尾武司
67	平成26年	第45回	小坂橋 淳	地方文化	(故人)	〃
68	平成27年	第46回	政井 和子	地方文化	田辺市中屋敷町	〃
69	〃	〃	古久保 健	郷土史研究	田辺市龍神村殿原	〃
70	平成28年	第47回	芝 安雄	伝統工芸	(故人)	本名 芝 安男
71	平成29年	第48回	酒井 滋子	生活文化・ひきこもり支援	(故人)	〃
72	〃	〃	濱岸 宏一	文化財保護	(故人)	〃
73	平成30年	第49回	故池田 千尋	地方史研究	(故人)	〃
74	令和元年	第50回	松本 濱次	伝統工芸	田辺市中辺路町野中	〃
75	令和2年	第51回	五味田 聖二	合気道	(故人)	〃
76	〃	〃	多屋 朋三	地方史研究	(故人)	〃
77	令和3年	第52回	染谷 文代	読書活動の振興	田辺市上屋敷二丁目	〃
78	〃	〃	安井 理夫	小栗判官物語の研究、伝承	西牟婁郡白浜町堅田	〃
79	令和4年	第53回	石井 和子	短歌	西牟婁郡上富田町南紀の台	〃
80	〃	〃	古守 一晶	市民活動の実践	田辺市新万	〃
81	令和5年	第54回	羽根 千恵子	民俗芸能の伝承	田辺市本宮町請川	〃
82	〃	〃	堀池 雅夫	紀州松煙墨の製作	田辺市文里一丁目	〃
83	令和6年	第55回	奥野 佳世	和紙作家	田辺市龍神村東	〃
84	〃	〃	奥野 誠	和紙作家	田辺市龍神村東	〃

※昭和45年～平成16年は旧田辺市における受賞者、平成17年以降は現在の田辺市における受賞者

旧田辺市	54
現田辺市	30
合計	84